

学校名 南城市立久高小中学校	連絡先 TEL : 098-948-3515 Eメール : kudaka-kyoto@edu.city.nanjo.okinawa.jp
--------------------------	---

1 実践事項（特色ある取り組み）

特色ある取組（学力向上と伝統で繋ぐ3大行事）

2 実践内容

[中学校]

(1) 朝学習と家庭学習の連動

- ①家庭学習の英単語学習と連動した朝学習での英単語テスト
- ②家庭学習の国語教科書準拠漢字学習と連動した朝学習での漢字テスト

(2) 定期テスト1週間前より、30分の放課後自主学習と質問タイムの実施

- ①定期テスト1週間前より放課後30分の自主学習を実施し、5教科の先生が質問を受けたり、補習の学習を実施（テスト対策の初期スタートの機会としている）

(3) 各教科における総合的な学習の時間と連動したカリキュラムマネジメントの実施

- ①国語の時間における「職場体験」お礼状づくり
- ②理科の植物のつくりと働きを、実際の栽培を通して学ぶ

[小学校]

(1) 校内研修（ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり）との連動

- ①1時間の授業の流れを掲示
- ②ハンドサインを使って考えながら話を聞く

(2) 総合的な学習の時間の充実

- ①少人数を活かして、3・4・6年生合同で総合的な学習の時間を実施
- ②「久高の文化や伝統行事について調べよう」と、地域を題材とした内容を実施。児童の問いから学習計画を立て、チームに分かれて調べ学習をする。積極的に地域へと飛び出し、インタビューや体験活動を行い、わかったことをGoogleスライドにまとめ学習発表会で発表する。
- ③国語の時間に学習したことを生かして「依頼文」や「お礼の手紙」の作成、地域の方にインタビューを行う

(3) 児童総会の実施

今年度行う児童会行事を、全児童が話し合っ決定する。実施が決まった行事は、1～6年が混ざった縦割り班で企画運営し、教師はサポートをする。

[小・中学校合同]

- (1) 幼・小・中合同の地域伝統行事「追い込み漁」の実施
- (2) 幼・小・中合同及び地域も一体で行う「久高島大運動会」の実施
- (3) 幼・小・中合同での「学習発表会」の実施

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



中学部 お礼状作り



中学部 合同朝学習

ハンドサイン



なるほど！ いいね
わかった おなじきもち
わかるわかる～



もうちょっと
せつめいして～



しつもんしたい
ことがあるよ

小学部 ハンドサイン



小学部 児童総会での話し合い



幼小中合同 追い込み漁



幼小中合同 久高島大運動会

4 成果

[中学校]

- (1) 朝学習における豆テストを、家庭学習及び授業と連動させる取組が定着していて、コツコツ1年を通して学習するシステムが構築できている。
- (2) 定期テスト1週間前の30分自主学習も3年の歴史を経て、当たり前雰囲気になっていて、その後も継続して学習し、90分程度学習を続ける生徒が多い。休日も学校の図書室を利用して自主学習に取り組んでいる。
- (3) カリキュラムマネジメントとして、各教科における探求的授業を数時間程度取り組み、総合的な学習における教科横断型の学習に取り組んでいる。

[小学校]

- (1) 授業UDを取り入れたことで、児童が見通しをもって授業に参加できていたり、学校共通で指導ができていたりしている。
- (2) 総合的な学習の時間では、児童が学習の舵を取ることで、主体的に学習に取り組んでいる。また、学校と地域の新しい繋がりを生み出している。学習発表会では、地域の方々に好評を得た。

[小・中学校合同]

- (1) 久高島の追い込み漁は歴史ある漁法で、毎年学校行事として実施することで、地域を知り、自然の豊かさを感じ、協働する大切さや地域の協力者への感謝の心を育むことが出来た。

5 課題

[中学校]

- (1) 各教科における探求的授業を数時間程度取り組み、総合的な学習における教科横断型の学習に繋げるカリキュラムマネジメントは、始まったばかりでこれから研究を重ねながら取り組む必要がある。

[小学校]

- (1) 今年度は、児童会行事が教師の負担になっている部分があった。児童総会は初めて2年しか経っておらず、どのような形が最適なのか今後も検討していく必要がある。



小学1・2年 カリキュラムマネジメント表



中学部 カリキュラムマネジメント表